

# 田辺かずき (38歳)

1980年5月16日生まれ

出身：福岡県古賀市

家族：会社員の妻、11歳の長男、8歳の長女

尊敬する人物：両親、福澤諭吉、出光佐三

好きなスポーツ：ラグビー、水泳、テニス、野球

好きな音楽：サザン、椎名林檎、ドリカム

好きな作家：夏目漱石、平野啓一郎、山崎豊子、綿矢りさ

好きな漫画：手塚治虫の作品、「家裁の人」(原作・毛利甚八)、「博多っ子純情」(長谷川法世)

好きな俳優：深津絵里、堤真一、菅野美穂

特技：珠算・暗算 (花見そろばん教室 OB)

1987年/暁の星幼稚園 卒園 (古賀子ども劇場会員)

1993年/花鶴小学校 卒業 (第2回少年の船参加)

1996年/古賀中学校 卒業 (生徒会長を務める)

1999年/福岡県立福岡高校 卒業 (高校51回)

2003年/慶應義塾大学法学部法律学科 卒業

毎日新聞社 入社/福井支局 配属

原発事故や災害弱者、日本人拉致問題、身体障

がい者補助犬の普及促進などを取材

2006年/大阪本社社会部 配属

橋下徹・大阪府知事(当時)、大阪府警、甲子園、

福祉問題、地域活性化、国際紛争などを取材

2011年/福岡県議会議員 初当選

2015年/福岡県議会議員 2期目当選

県議の任期中、予算・決算の特別委員会、農林水産委員会や厚生労働環境委員会など様々な委員会に所属。福岡県タイ友好議員連盟事務局長としてはタイ政府の副首相ら閣僚と会談を重ね、福岡県に国内2カ所目となるタイ総領事館設置を実現。スポーツ議員連盟幹事も。

福中・福高同窓会顧問、古賀競成館高校後援会名誉顧問

2017年度には古賀東小学校のPTCA会長も務める。

田辺かずき後援会事務所

〒811-3103 福岡県古賀市中央 1-6-41-203

TEL 092-692-8510 FAX 092-410-7730

MAIL challenge@tanabe-kazuki.jp

## 新たな市政を構想 オール古賀の実現へ



1980生  
古賀育ち

38歳

田  
辺  
か  
ず  
き



### 県議会議員2期8年の実績

30歳から県議会議員を2期8年務めさせていただきました。古賀市の振興を常に意識し、生活のあらゆる分野に及ぶ多くの政策を知事に提案、実現してきました。古賀市の皆様から負託を受けていることを強く意識し、任期中、全ての定例会本会議で質問に立ってきました。

これらの活動実績や成果につきましては膨大ですので、公式HPやブログをご参照ください

古賀市として様々な取り組みを進めていくためには、県や国とのつながりがとても重要です。私は与野党関係なく、様々な政党の皆さんと人間関係を築いてきました。必ず、これからの古賀市の振興につなげていきます。

さらに、全国各地の若手政治家の取りまとめ役も務め、北海道から沖縄まで多くの国会議員・地方議員の仲間のネットワークを築いてきました。多様な政策を展開するために、これまでの経験とネットワークを全力で生かします。



### マニフェスト大賞を受賞

— 骨髄移植ドナーに対する助成制度を実現  
— 若手の全国網による政策展開が高く評価

2017年、政策本位の政治をめざす日本最大の政策コンテスト「マニフェスト大賞」で最優秀政策提言賞を受賞しました。全国の若手政治家の仲間とともに、急性白血病で亡くなった仲間の地方議員の闘病体験に基づく提言を受け継いで、骨髄移植のドナー支援のための政策形成に取り組んだことが評価されたもの。私は仲間の代表として授賞式に臨みました。なお、古賀市でも同年、ドナーとして骨髄を提供した人に対して「1日2万円×最大7日」の助成を行う制度が創設されています。

田辺かずきの政治活動を連日配信中!

公式ホームページ→<http://www.tanabe-kazuki.jp/>

日々のブログ→<https://ameblo.jp/tanabe-kazuki/>



田辺かずき



## 現場主義に徹します。

「対話」と「交流」を起点に、住民の皆様の「声」を市政に反映させます。そして、住民の皆様にとって「政治が手元にある」と実感できる市政を実現させます。



私が政治家として最も大切にしているのは、誰とでも顔を合わせて話をする事。人はみんな考え方が異なります。しかし、「対話」をすることによって、お互いの理解が深まります。民主主義の基本は「社会の調和点」を見出すこと。政治は、私たち住民一人一人の生活の向上のためにあります。特定の主義・主張だけを実現するためにはありません。

だから、私は「古賀市に一人しかいない県議」として、誰よりも古賀市内のすべての地域をくまなく回り、皆さんとの対話を重ねてきました。皆さんの「声」からたくさんの生活課題、地域課題を見出し、これらを解決する政策をつくることで、「政治が手元にある」と実感していただけるように――。

私はこれからもこの理念に基づき、活動します。子どもたちや孫たちに豊かな地域社会をつなぐため、みんなの力を合わせ、「オール古賀」で進んでいきましょう。

いまの古賀を築いてくださった人生の先輩方、先人の皆様のご尽力に感謝し、継ぐべきものを確実に継ぎ、新たな発想を加え、子どもたち孫たちの未来につなぎます。

古賀市は都市近郊で、自然に恵まれ、農業・商業・工業が息づく、魅力的な地域です。九州自動車道のインターチェンジがあり、国道3号線、旧3号線、筑紫野古賀線といった主要道が走り、JR鹿児島本線の駅が3つもある交通の要衝でもあります。

古賀市は働きやすい、暮らしやすい地域です。この特性を伸ばし、誰もが生きがいを持って生きていける、一人一人が大切にされるまちづくりを進めていきたい。そのためには、働く場を確保し、子育てや教育、医療・介護などの体制を整備しなければなりません。食品加工団地が立地するなど、工業製品出荷額の食料品分野で県内2位の実力を持ちます。主要道沿線を中心に、こうした力をさらに伸ばしていくための土地利用や企業誘致などの産業政策が重要です。

古賀市外の皆さんにも魅力を発信していきたい。観光・物産の拠点施設も構想したい。多くの希少な金銅製馬具が出土して国史跡に指定された船原古墳や薬王寺温泉、夕日が美しく沈む海岸線をはじめ様々な地域資源があり、これをもっと磨き、生かしていきたい。そして、宗像市や福津市、糟屋郡などとの広域連携も重要です。歴史や風土、文化、私たちの人間のネットワークは市町の境を越えてつながっています。こうした視点で、地域振興を図っていくことは、とても大切なことです。

私はこのまちで育ちました。このまちの人たちの地域力こそが、古賀市の振興に必要です。みんなで力を合わせ、誰もが幸せを実感して暮らしていける古賀市をつくっていきましょう。

# 古賀市のためにしていきたいこと

## ◆予算編成の「見える化」

—みんなでつくる古賀、子どもたちの視点も—

政策づくり、予算編成の「見える化」に取り組みます。編成過程に住民の皆さんが関われる仕組みを検討し、例えば、課題ごとのタウンミーティングや各自治会の公民館での対話集会を開催します。私たち一人一人が当事者意識を持ち、様々な課題について認識を共有し、話し合える場をつくりたいです。子どもたちの意見も聴き取り、次世代の感性を予算につなげます。

- ◎古賀版クラウドファンディングを推進し、財政基盤を強化します
  - ◎全国の首長と連携し、地域社会を強化する財源の確保に取り組みます
- ※クラウドファンディングとは、社会課題などを解決するためにインターネット上で不特定多数の人に賛同を求め、資金を調達する仕組み

## ◆産業振興

### <農業・商業・工業の力をさらに引き出す>

- 交通結節点の「地の利」を生かした適正な土地利用と企業誘致を推進
- 古賀駅周辺のにぎわい創出と中小企業・小規模事業者支援
- 農業生産基盤の整備と担い手育成・支援、先端技術の導入などによる生産・消費拡大

古賀市の「地の利」を生かした適正な土地利用の転換と企業誘致を進め、「働く場」を確保します。特に、玄望園地区、古賀インターチェンジ周辺の新原高木地区、今在家地区に重点を置き、古賀駅周辺のにぎわい創出にも取り組みます。中小企業・小規模事業者の皆さんの技術力を生かした様々な取り組みをはじめ海外への販路拡大も支援します。県議会で農林水産委員を務めてきた経験を生かし、農業を振興します。古賀市の工業製品や農業製品などの販路拡大のため、市内外でのトップセールスに取り組みます。

- ◎宗像、福津、糟屋、遠賀と広域的に連携し、経済・観光振興を目指します
- ◎薬王寺温泉や国史跡・船原古墳をはじめ魅力ある地域資源の力を引き出します
- ◎中小企業の振興を図るための条例の制定を検討します
- ◎映画やドラマのロケ地となる「フィルムコミッション」の誘致に挑戦します

## ◆チルドレン・ファースト

### <子育て支援の充実、教育環境の向上>

「子どもたちが大人になっても住みたい古賀でありたい。」私自身も子育て世代。子どもの学びと育ちを全力で支えます。安心して育てられる環境をつくるため、十分な保育の受け皿確保を進めます。病児や休日の保育など「もしも」に応える体制もニーズを把握し、充実を図ります。子育て世帯の経済的負担を念頭に、より充実した医療費助成制度の構築に努めます。地域の公民館で集団生活を経験する「通学合宿」など、地域が一体となって子どもの「生きる力」を伸ばす取り組みを後押しします。子どもが社会に関心を持てるよう、主権者教育を推進し、地元で特色ある教育を進める公立古賀成成館高校、県立玄界高校、県立古賀特別支援学校との連携も強化します。

- ◎登下校の子どもの安全を確保するため「ゾーン30」の整備を推進します
- ◎小児がん治療等で予防接種の免疫を消失した際の「再接種」に助成を検討します
- ◎郷土愛の醸成—小学生・中学生に古賀市の歴史・風土を学べる副読本を

※「ゾーン30」とは小学校周辺などの区域を指定し、30km/hに速度を規制する交通安全対策です



## ◆誰もが生きやすい地域社会

### <医療・介護・障がい者福祉の充実>

あらゆる立場の人が「QOL (Quality Of Life=生活の質)」を向上できる古賀市を目指します。超高齢社会に対応できる医療・介護体制を目指します。「ヘルス・ステーション」や企業連携による「歩く王決定戦」などの古賀市の先進的な取り組みを大切にして健康づくりを推進します。障がい者就業・生活支援センターの体制強化や県立特別支援学校における医療的ケアの体制整備を実現してきた経験を生かし、障がい者福祉の向上を図ります。障がい者差別解消条例の制定も目指します。

通勤や通学、買い物や通院などがしやすいよう地域公共交通網の整備を進めます。

- ◎貧困・格差の解消に力を注ぎます。子どもの貧困対策に取り組んできた経験を生かします。
- ◎地域課題の解決のため、ソーシャルワーカーの任用を含む、包括的な相談支援体制の構築を進めます。
- ◎「ワーク・ライフ・バランス」(仕事と生活の調和)を重視し、誰もが充実感を持って働きながら、家庭や地域で多様な生き方が実現できる社会を目指します。
- ◎高度難聴者の方に必要な人工内耳の体外器の買い替え助成を検討します
- ◎犬猫の殺処分ゼロを目指し、高齢者のペット飼育の支援を推進します
- ◎高齢者にやさしいゴミ収集の手法を検討します
- ◎西鉄宮地岳線跡地は、地元の「声」を尊重します。安全・安心の確保、憩いの空間形成なども含めた活用方法について、住民の皆さんとともに検討します

## ◆地域防災力を強化

消防団の活動を支援し、団員の皆さんと共に将来的に持続可能なあり方を検討します。自主防災組織の運営を支え、高齢者や障がい者の皆さんなど避難行動要支援者の個別計画策定を促進します。民間と連携し、ドローンやITを活用した防災体制を構築します。

- ◎防災対策基本条例の制定を目指します

## ◆スポーツ・文化の振興 —国際交流と多文化共生も推進

- ◎青少年のスポーツや文化活動、生涯スポーツ、文化団体の活動を応援します
- ◎2020年の東京オリンピック・パラリンピック、福岡も試合会場となる2019年のラグビーワールドカップを古賀の振興につなげます
- ◎県と連携し、古賀市の特性を生かした新たなスポーツ関連施設を検討します
- ◎福岡県馬術競技場(筵内)の活用を促進します
- ◎東南アジアや欧州との交流拡大を図ります
- ◎在日外国人の皆さんの教育や労働、医療などの生活支援を推進し、多文化共生を根付かせます

## ◆人権を重んじ、平和を希求する

個人の尊重と幸福追求権を規定した憲法第13条などに基づき、人権を尊重した市政運営を徹底します。福岡市で実現している「LGBT(性的少数者)パートナーシップ条例」の制定を検討し、あらゆる生き方を保障します。あらゆる差別の解消に向けた施策を推進します。

子どもたちが高齢者の皆さんの戦争体験を聞き取り、「追体験」する機会を創出し、世界の恒久平和を目指す古賀市を実現します。

## ◆ごみ減量、廃棄物のリサイクル推進による循環型社会を目指します

「SDGs」の理念に基づき、持続可能な地域社会を構築します

※国連サミットで2015年に採択された「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」。世界の未来のために不平等・不正義をなくし、私たちの地球を守るための計画。